

『中学校数学科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 2年1組教室

(3) 学年・学級 第2学年1組(32名)

使用教科書 中学数学2(教育出版)

(4) 単 元 名 式の計算

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

第1学年では、正の数と負の数を用いて数量や数量の関係を表すとともに、文字を用いて数量や数量の関係及び法則などを式に表現したり式の意味を読みとったりすること、文字を用いた式が数の式と同じように操作できることなどを学習している。また、一つの文字についての一次式の加法と減法を取り扱い、一元一次方程式が解ける程度の簡単な式の計算について学習している。

【単元のねらい】

いくつかの文字を含む整式の四則計算ができるようになることや、文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解し、文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする力を養うとともに、文字を用いた式を具体的な場面で活用することを通して、そのよさを実感できるようにする。

【生徒の状況】

学級の雰囲気は明るく、課題に対して粘り強く取り組もうとする態度が見られる。学級全体の基礎的な計算力は高いものの、小数や分数の計算に苦手意識がある生徒がいたり、自分の力で解けないときに自分から質問したりして解こうとすることは少ない。

事前テストでは、一次式の加法の正答率は80%、一次式と数の乗法の正答率75%であるのに対して、一次式の減法の正答率は60%、一次式と数の除法の正答率は55%であった。

(6) 指導計画(全14時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1節 (9時間)	【式の計算】 ・2つのコースの道のりを比較すること ・文字を使った式で事象を説明することの有用性 ・単項式、多項式、定数項の意味 ・単項式、多項式の次数 ・同類項の意味 ・同類項のまとめ方	一斉 個別 ペア・グループ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
	・多項式の加法、減法 教科書 P20 1行目から問4まで (1時間 本時4/9) ・多項式と数の乗法、除法 ・いろいろな式の計算 ・単項式どうしの乗法 ・単項式どうしの除法 ・乗法と除法が混じった式の計算 ・式の値	一斉、個別 ペア・グループ	知識・技能 思考・判断・表現
第2節 (5時間)	【式の活用】 ・式の活用 偶数と奇数の和 2桁の自然数の和 連続する整数の和の性質 ・等式の変形	一斉 個別 ペア グループ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校数学科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 2年1組教室

(3) 学年・学級 第2学年1組(32名)

使用教科書 中学数学2(教育出版)

(4) 単 元 名 式の計算

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

第1学年では、正の数と負の数を用いて数量や数量の関係を表すとともに、文字を用いて数量や数量の関係及び法則などを式に表現したり式の意味を読みとったりすること、文字を用いた式が数の式と同じように操作できることなどを学習している。また、一つの文字についての一次式の加法と減法を取り扱い、一元一次方程式が解ける程度の簡単な式の計算について学習している。

【単元のねらい】

いくつかの文字を含む整式の四則計算ができるようになることや、文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解し、文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする力を養うとともに、文字を用いた式を具体的な場面で活用することを通して、そのよさを実感できるようにする。

【生徒の状況】

学級の雰囲気は明るく、課題に対して粘り強く取り組もうとする態度が見られる。学級全体の基礎的な計算力は高いものの、小数や分数の計算に苦手意識がある生徒がいたり、自分の力で解けないときに自分から質問したりして解こうとすることは少ない。

事前テストでは、一次式の加法の正答率は80%、一次式と数の乗法の正答率75%であるのに対して、一次式の減法の正答率は60%、1次式と数の除法の正答率は55%であった。

(6) 指導計画(全14時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1節 (9時間)	【式の計算】 ・2つのコースの道のりを比較すること ・文字を使った式で事象を説明することの有用性 ・単項式、多項式、定数項の意味 ・単項式、多項式の次数 ・同類項の意味 ・同類項のまとめ方 ・多項式の加法、減法	一斉 個別 ペア・グループ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
	・多項式と数の乗法、除法 教科書 P21 から P22 問6まで (1時間 本時 5/9)	一斉、個別 ペア・グループ	知識・技能 思考・判断・表現
	・いろいろな式の計算 ・単項式どうしの乗法 ・単項式どうしの除法 ・乗法と除法が混じった式の計算 ・式の値		
第2節 (5時間)	【式の活用】 ・式の活用 偶数と奇数の和 2桁の自然数の和 連続する整数の和の性質 ・等式の変形	一斉 個別 ペア グループ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校数学科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 2年1組教室

(3) 学年・学級 第2学年1組(32名)

使用教科書 中学数学2(教育出版)

(4) 単 元 名 式の計算

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

第1学年では、正の数と負の数を用いて数量や数量の関係を表すとともに、文字を用いて数量や数量の関係及び法則などを式に表現したり式の意味を読みとったりすること、文字を用いた式が数の式と同じように操作できることなどを学習している。また、一つの文字についての一次式の加法と減法を取り扱い、一元一次方程式が解ける程度の簡単な式の計算について学習している。

【単元のねらい】

いくつかの文字を含む整式の四則計算ができるようになることや、文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解し、文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする力を養うとともに、文字を用いた式を具体的な場面で活用することを通して、そのよさを実感できるようにする。

【生徒の状況】

学級の雰囲気は明るく、課題に対して粘り強く取り組もうとする態度が見られる。学級全体の基礎的な計算力は高いものの、小数や分数の計算に苦手意識がある生徒がいたり、自分の力で解けないときに自分から質問したりして解こうとすることは少ない。

事前テストでは、一次式の加法の正答率は80%、一次式と数の乗法の正答率75%であるのに対して、一次式の減法の正答率は60%、一次式と数の除法の正答率は55%であった。

(6) 指導計画(全14時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1節 (9時間)	【式の計算】 ・2つのコースの道のりを比較すること ・文字を使った式で事象を説明することの有用性 ・単項式、多項式、定数項の意味 ・単項式、多項式の次数 ・同類項の意味 ・同類項のまとめ方 ・多項式の加法、減法 ・多項式と数の乗法、除法 ・いろいろな式の計算 ・単項式どうしの乗法	一斉 個別 ペア・グループ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
	・単項式どうしの除法 ・乗法と除法が混じった式の計算 教科書 P25 13行目から P27 問7まで (1時間 本時 8/9)	一斉 個別 ペア・グループ	知識・技能 思考・判断・表現
	・式の値		
第2節 (5時間)	【式の活用】 ・式の活用 偶数と奇数の和 2桁の自然数の和 連続する整数の和の性質 ・等式の変形	一斉 個別 ペア グループ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校数学科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 2年1組教室

(3) 学年・学級 第2学年1組(32名)

使用教科書 中学数学2(教育出版)

(4) 単 元 名 式の計算

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

第1学年では、正の数と負の数を用いて数量や数量の関係を表すとともに、文字を用いて数量や数量の関係及び法則などを式に表現したり式の意味を読みとったりすること、文字を用いた式が数の式と同じように操作できることなどを学習している。また、一つの文字についての一次式の加法と減法を取り扱い、一元一次方程式が解ける程度の簡単な式の計算について学習している。

【単元のねらい】

いくつかの文字を含む整式の四則計算ができるようになることや、文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解し、文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする力を養うとともに、文字を用いた式を具体的な場面で活用することを通して、そのよさを実感できるようにする。

【生徒の状況】

学級の雰囲気は明るく、課題に対して粘り強く取り組もうとする態度が見られる。学級全体の基礎的な計算力は高いものの、小数や分数の計算に苦手意識がある生徒がいたり、自分の力で解けないときに自分から質問したりして解こうとすることは少ない。

事前テストでは、一次式の加法の正答率は80%、一次式と数の乗法の正答率75%であるのに対して、一次式の減法の正答率は60%、一次式と数の除法の正答率は55%であった。

(6) 指導計画(全14時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1節 (9時間)	【式の計算】 ・2つのコースの道のりを比較すること ・文字を使った式で事象を説明することの有用性 ・単項式、多項式、定数項の意味 ・単項式、多項式の次数 ・同類項の意味 ・同類項のまとめ方 ・多項式の加法、減法 ・多項式の乗法、除法 ・いろいろな式の計算 ・単項式どうしの乗法 ・単項式どうしの除法 ・乗法と除法が混じった式の計算 ・式の値	一斉 個別 ペア・グループ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
第2節 (5時間)	【式の活用】 ・式の活用 偶数と奇数の和 2桁の自然数の和 連続する整数の和の性質	一斉 個別 ペア グループ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
	・等式の変形 教科書 P34 1行目から問2までと P35 基本の問題3 (1時間 本時 5/5)	一斉 個別 ペア・グループ	知識・技能

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。